

学校法人鵬学園 認定こども園百石幼稚園

令和7年度 自己評価報告書

令和8年3月18日

教育方針 遊びを中心に楽しみ生活を展開させ、伸びやかに周りの環境とかかわり

子供らしく且つ逞しい人間性を養いたい

目指す幼児像 健康で意欲のある子ども / 情操豊かで思いやりのある子ども

教育目標 丈夫で明るい子/ 最後までやり抜き頑張る子

よく考えて物事を工夫する子 / みんなと仲良く思いやりのある子

令和7年度 保育の重点課題

1,目標設定、記録、評価による保育の質の向上の実践

具体的取組内容

- オーダーメイド保育を行う。保護者の希望も取り入れながら個別のプロファイル作成。アセスメントをして個別支援計画を作り、関りの方針を決めながらケース記録をとる。学期ごとにカンファレンスを行い、支援の効果を確かめながら対応していく。保護者支援も同時に行う。
- ECEQを通じて保育の質の向上の実践と評価
- 積極的な幼保小連携事業。進学時の段差を解消するための協力と情報共有。

令和7年度 経営の重点課題

今後10年を見通した環境整備により、子ども、保護者、地域に必要とされる園作り。

具体的取組内容

- 子どもが楽しく安全に遊べる園庭環境の整備。：おもちゃ小屋改修、お山の整備
- 社会的課題に即した教育環境の提供：新たな建物を建築し、必要とする子ども・保護者の集いや学びの場所とする。そのためのニーズ調査や人材確保を行う。関係機関との協力要請。活動実績構築のための記録。

今年度の新たな取り組み

1. 子供の健やかな育ちを第一に活動を行う ECEQ 開催 (11/6)
2. 子どもの育ちは親の育ち 活動記録の保護者への公開 (長期休暇後年2回)
3. 常に質の良い教育を行うための、職員研修の強化 職員によるハッピーメーカーブック作成 (今年度終了時完成)
4. ファンが生まれる幼稚園・園児募集 SNS アクセス数の記録 学期ごと同窓会公式ラインの継続
5. ハッピーメーカー行動指針による評価 凡事徹底を基本に評価する 学期ごと
6. 地域の教育機関として、学びの場所づくり 事業計画の策定・準備

運営方針(重点事項)の評価

評価 A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった
D・・・成果がなかった

(1) 子供の健やかな育ちを第一に活動を行う

自己評価と理由	A:計画したことは行うことができた。環境チェックについては、内容をより深めていく必要があると考え、次年度への課題とする。第三者評価については、職員一丸となって取り組むことが出来た。
---------	--

(2) 子供の育ちは親の育ち 保護者の教育力を高める活動の促進

自己評価と理由	A:十分に活動を行うことが出来た。預かり保育活動の掲示については、次年度への課題とする。また、教育啓蒙活動については、日時や内容を工夫して、多くの参加を得られるよう、一度見直す。
---------	---

(3) 子供は地域で育つ。地域貢献活動の促進

自己評価と理由	A:地域と連携を行いながら活動を行うことができた。
---------	---------------------------

(4) 常に質の良い教育を行うための、職員研修の強化

自己評価と理由	A:研修に関しては、園内外において十分に学びを深めることが出来た。引き続き保育に生かしていく。また、ハッピーメーカーブックについても、作成することで経験者も保育を言語化することになり、良い取り組みとなった。
---------	---

(5) 保育の質を維持するのは厚い職員体制、働きやすく多様に働ける職場環境を作る

自己評価と理由	A:安定した処遇改善や、職種による手当の確立などキャリアパスフレームが明確になることで、採用時にも将来像を描きやすくなった。次年度に向け、保育教諭及び栄養士の有資格者を採用することが出来た。
---------	---

(6) かけがえのない園であるために ファンが生まれる幼稚園 園児募集計画

自己評価と理由	B:親子教室については、参加者の満足度は高いが、より広く参加者を募り園の良さをお伝えできるように工夫していくことを、次年度の課題とする。そのためにも SNS を戦略的に使用していく必要があり、今年度のアクセス数等の分析を生かしていくことができる。情報発信については積極的に行ってきたが、より明確な目標設定と、継続の仕組化を図っていく。卒園児との関りについても、細く長く続いていけるような仕組みづくりや企画を行っていききたい。
---------	--

全体自己評価: PDCA サイクルを回しながら、計画目標を着実に実行していけることを目指してきた。今年度の重点目標については、おおむね達成することができた。また、研修を積極的にを行い保育の質向上を図るとともに、保護者との面談回数を増やしたり、より相談しやすい環境づくりに努め、家庭教育力の底上げにも努めている。関わる全ての人々が心理的安全性を確保し、自分の力を発揮できるよう、今後も常に改善を図りながら地域の教育の場として向上していきたい。

認定こども園百石幼稚園 令和7年度施設関係者評価 結果

評価機関 令和8年2月16日(月)

評価者 4名 (関係保育施設2名、近隣小学校校長、父母の会会長)

評価方法 これまでの活動見学と資料配布による書面聞き取り

評価内容

1、園の活動について

今年度の百石幼稚園の取り組みについて、資料・保育をご覧くださいご興味のあることや、取り組み内容について、ご意見・ご評価をお知らせください。

○まず、子どもを中心において教育活動が行われていることに感心しています。そして、子どもを取り巻く環境整備、社会への貢献や保護者への働きかけなど多岐にわたって行っていることは大変素晴らしいと思っています。また、職員の働き方について、先生方に対して明確なビジョンを提供しながら進めていることで、全員が共通して同じ方向性をもって取り組んでいると感心するとともに、小学校でも参考にしていきたいと思います。

○オーダーメイド保育について教えてくださいと思います。

○多種多様な活動内容で子どもたちの生き生きとした姿が印象的です。

○子どもたちが情緒豊かで、心が安定していると感じました。幼児期にはとても大事なことです。

○ECEQを取り入れていること。

園を公開し、他園の視点を知る。また、他園、他組織を視察することで、自園を知ることは「こんな解決方法があるのか」「ほかに良い方法があるのでは？」と今よりも良くしよう、とする前向きな姿勢で、日々、情報のアップデートができる組織となっていることが、とても魅力的だと思います。

比較対象が少ないので一概には言えないのですが、とある園では「いつも、こうやっているので」と、現象や問題に対する回答に、理化学的根拠が示されないまま、保護者へ一方的な回答をされたことがある、と聞いたことがあります。子供を預ける側としては大変心配で、信用ができません。この背景には、閉鎖的な組織で問題に対して真剣に考えることを辞めているのだと感じました。

百石幼稚園にはそれを感じません。従いまして、引き続き、外部の情報、目線、考えに寛

容で、その機会を得る仕組みを大事にして欲しいと願っております。

○ハッピーメーカーブック

人材確保及び早期戦力化のためにも必要不可欠なアイテムであると思います。差し支えなければ、父母会役員にだけでも、閲覧させていただける嬉しいです。その内容が私たち保護者としての気づきになるかもしれませんし、差し出がましいのですが、貴園へのご助力もできるかもしれません

2、そのほかの活動や取り組みに対して気づいた点やご意見等をご記入ください。

○今年度は、子どもの対応について協力していただいたり、同じ活動を共有しようとする取り組みをしようとお互いにコミュニケーションが取れたりしたことで、子どもたちはもとより教員も、幼稚園教育と学校教育との連携を意識できたと考えています。これからもこのようなつながりを大切にしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○あじゅまる会もぜひ春のこいのぼりから出発できればと考えています。ぜひご協力ください。

○感性を育てる教育を、引き続き行って欲しい。

○園が発行する文書、園からの周知文書について

○園内役職者などによる文章校正体制を整えてほしい。時折、理解齟齬（どっちの意味にも取れる）が生じる文面になっていたときがあり、文面の背景を整理読者が理解するときに文章で迷子になることがあった。この理由には、想像でございますが、「“職員が”そこまで詳しく書かれなくても判る内容」になっているのかな、と思いました。外部の人間が理解するには想像力が要ることがあるので、園から発信される書面（周知文含む）は、組織外部の人間が受け取ることを、都度、頭の隅に置いて発信していただきたい。

園より

ご意見ありがとうございました。ご指摘は改善し、良いところは伸ばしていきながら、次年度も教育の質の向上、環境の整備に努めてまいります。ありがとうございました。